

2014 JCF マウンテンバイク 白山一里野大会 (第5戦) レースレポート

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

+++++

大会名：2014 JCF マウンテンバイク ジャパンシリーズ in 白山一里野大会 (XCO #7)

期日：2014年10月26日 (日)

会場：石川県白山一里野温泉スキー場 /
JCF 公認 MTB コース

天気/気温：快晴 /21℃

競技種目：男子エリート 4.2km x 7Laps =
29.4 km

参加数：65名

結果：2位

Web :
<http://www.mtb-ishikawa.com/index.html>



+++++

2014年シーズンの国内最終戦となるジャパンシリーズ白山一里野大会。前戦のシリーズ第6戦富士見大会をキャンセルしたこともあり、落とすことの出来ないファイナルレース。シーズン中盤、全日本選手権辺りからは気持ちと身体が全く噛み合わず、苦悩の日々を過ごした。心身ともに休養を挟みながら焦らずにやるべき事、やらなければいけない事をシンプルに考え、少しずつ気持ちを立て直していった。自分らしさを見失うくらいに悩み考え込んだ日々も今考える無駄じゃなかった気がしている。マレーシア・ランカウイでのステージレースをある程度の手応えで終え、タイトなスケジュールだったが予定通りレース2日前に会場入り。ステージレースの疲労感から、高ぶる気持ちとは裏腹に身体の動



きが鈍い……。チームブースにて30分ローラーで脚を回し、コースを2周試走して会場を後にした。

この時期は寒暖差が激しい一里野スキー場は山々の紅葉がピークを迎え冬の訪れを感じさせる。部屋から外を見つめ無心になれる時間が心地良く、心が落ち着いた。色々な意味でネガティブになるくらいならやれるだけやってみよう。不安要素はたくさんあったが、気持ちの高ぶりと共に心境の変化を感じることが出来た。今回のコースはアップダウンを繰り返す単調なコースではあるが、路面は滑りやすくテクニカルセクションも数箇所ある。クライムのパワーが重要とされるコースと言える。レース当日、いつも通りのルーティンでいつも通りの準備を整える。自分を信じ勝つことを信じた……。

男子エリートのスタートは13時30分。最前列の真ん中に位置取り号砲を待つ。良い反応でスタートダッシュを決め、4～5番手で最初の登りに入る。消極的になり過ぎず……オーバーペースにならないよう……しっかりと考えレースを組み立てて行く。大事なはその場しのぎのペースになり、オーバーペースにならないこと。1周目から最終ラップまで焦らず冷静に、地形に合わせ同じギア比、同じラインで走れるよう常に意識した。1周目を終え

5位通過。トップ集団を牽引するのはMIYATA-MERIDAの小野寺選手。彼のスピードとパワーは脅威であり、絶対にマークしなければならない存在であるのは確か。2～3周目までは先頭パックの2人を追走するカタチで単独3位から様子を伺う。若干ペースが落ちてきた4周目に満を持してペースアップを試みた。思いの外差は縮まり、2位を走り勢いある高校生をパス。トップを走る小野寺選手まで一気にペースを上げ、6周目で追い付くことが出来た。しかしペースを上げた反動からか思いの外脚に疲労がある……。アップヒルを繰り返すタフなコースは確実に体力



と気力を奪っていく。弱気な自分が出そうになるときは歯を食いしばり自分に活を入れる。ラスト1周で自分から積極的に仕掛けるもののピッタリとマークされ離れない。絶対に勝つ。その一心でペダルを踏み込む。苦しい場面が何度も何度も訪れるが、意地でプッシュし続ける。最後のフィードゾーンを過ぎたところで相手にアタックされ、そのスピードに反応出来ない……。フラフラになりながらも持てる力と技、気力と体力、今現在の力を出し尽くし2位でのフィニッシュ。

悔しさと安堵感。今までの悔しさとは一味も二味も違った感情が込み上げる。シーズンを通して献身的に支えて下さったチームスタッフ、サプライヤー様、ファンの皆様、仲間、友人、家族。皆さんのサポートと応援があって勝ち取れた 3 年連続のシリーズチャンピオンのタイトル。本当に感謝の言葉しか出てこない。2014 年ジャパンシリーズは全戦優勝とはいかなかったが、3 年連続ジャパンシリーズチャンピオンを獲得出来たこと、チーム総合優勝が出来たこと、今は最高のシーズンだったと言える。苦しみ悩み続けた日々も、終わってみればステップするために必要な過程だったのかもしれない。心身ともにリフレッシュしたい気持ちはあるが、今週末に行われるアジア選手権大会（インドネシア・スマトラ）までしっかりと集中して頑張りたいと思う。来期へ向けての目標や課題もオフの期間にしっかりと煮詰めていきたいと思っている。3 年連続で行うシャンパンファイヤー。一生忘れることの出来ない思い出がまた刻まれた。今シーズンも沢山の方々に支えられ、競技に専念出来たことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

【リザルト】

- 1.小野寺健 北海道/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM
- 2.斉藤 亮 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
- 3.平林安里 長野県/ PRO RIDE
- 4.平野星矢 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
- 5.中原義貴 大阪府/ Cannondale
- 6.前田公平 東京都/

【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9
コンポーネンツ：SHIMANO / XTR FC-M985
ホイール：SHIMANO / XTR-WH-M9000-TL
シューズ：SHIMANO / SH-XC90
ペダル：SHIMANO / PD-M980
ハンドル：SHIMANO PRO / XCR
ステム：SHIMANO PRO / XCR
シートポスト：SHIMANO PRO / XCR
フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM
タイヤ：SCHWALBE / RACING RALPH (27.5×2.1)
サドル：fi'zi:k / TUNDRA
ヘルメット：KABUTO / ゼナード(アンカースペシャルモデル)
サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション
ケミカル：HOLMENKOL

時計：SUUNTO / AMBIT2S

メーター：パワータップ G3 プロ MTB ハブ / ジュール GPS

ネックレス：SEV

ドリンク：SAVAS（株式会社明治）

サプリメント：SAVAS（株式会社明治）

レースグローブ：KABUTO / PRG-3

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

ザック：deuter

テーピング：New-HALE

